

第2回野田市行政改革推進委員会

日 時 令和2年1月28日（火）
午後1時30分から
会 場 市役所8階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について

4 その他

5 閉 会

一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について

1 平成 30 年度の経営状況について

開発協会の事業区分は、昭和 52 年のひばりコースの開場以来、公益事業と収益事業と 2つの事業に分けていましたが、一般財団法人への移行に伴い平成 26 年度からはこの区分がなくなり、1つの事業として運営を開始しました。

事業はこれまでと同様、パブリックゴルフ場の運営を主たる事業として、総合公園事業、都市公園事業の運営・管理を行っています。

主事業となるパブリックゴルフ場の運営については、ひばりコースの年間入場者数は前年度と比較し 1,997 人増加し、61,258 人となり、けやきコースの年間入場者数は前年度と比較し 2,745 人増加し、43,237 人となりました。

平成 30 年度は、夏季には台風や猛暑などの影響により一時入場者数が落ち込みましたが、10 月以降は好天に恵まれ、営業日数がひばりコースでは前年度比 23 日増の 361 日に、けやきコースでは前年度比 8 日増の 363 日になり、両コースとも入場者数が増加しました。

なお、1日当たりの平均入場者数は、ひばりコースで 170 人(前年度比▲5 人)、けやきコースで 119 人(前年度比+5 人)となっています。

また、総合公園事業については、野田市総合公園の指定管理者として、水泳場・テニスコート・野球場・陸上競技場・体育館の運営・管理を行い、都市公園事業では、野田市からの受託事業として、都市公園等の管理を行いました。

平成 30 年度の経営状況については、当期収入 10 億 7,816 万 4,232 円、当期支出 10 億 3,826 万 9,220 円で、2 名の定年退職者と 1 名の途中退職者への退職金の支出がありましたが、当期利益は 3,989 万 5,012 円の黒字となり、純資産額も 2 億 8,713 万 407 円に増加しました。

《H30 年度入場者数》

年度	ひばりコース		けやきコース		年間合計
	年間	1 日平均	年間	1 日平均	
H30	61,258 人	170 人	43,237 人	119 人	104,495 人
H29	59,261 人	175 人	40,492 人	114 人	99,753 人
増減	1,997 人	▲5 人	2,745 人	5 人	4,742 人

《H30 年度決算》

(単位:千円)

年度	収入	支出	収支差額 (当期利益)	純資産額
H30	1,078,164	1,038,269	39,895	287,130
H29	1,071,772	998,625	73,147	247,235

2 令和元年度の経営改善の取組状況について

野田市開発協会は、平成 26 年 4 月 1 日より一般財団法人に移行したため、2 年連続して純資産が 300 万円を下回った場合には即解散となります。

また、市の損失補償による借入も困難になったことから、協会独自で資金繰りをしなければならず、常に資金計画を見ながら、適切な現金預金残高を確保しなければなりません。

このため、今後は赤字とまらない組織の体質改善と、持続可能な経営状況を確立する必要があります。

1) 経費削減のための施策

(1) 市の支援策

① 借地料の引下げと使用料の免除

使用料の内、借地料分については地権者の協力により、平成 27 年度から借地料基本単価を 3 割減額としており、令和元年度、令和 2 年度についても、平成 30 年 11 月に地権者の皆様と協議し、引き続き基本単価の 3 割削減ということでした。了承をいただきました。(令和 3 年度以降再協議)

また、みどりのふるさと基金分については、開発協会の経営が安定するまで免除することとしています。

② 建設償還金の猶予

けやきコースの建設償還金は、令和 3 年度まで猶予しています。

(2) 協会の経費削減策

① 職員給与等の削減

職員代表及び組合と合意のもと、平成 27 年 4 月から給与の 9%削減(平成 26 年度 11%減)を行い、現在も継続しております。

令和元年度の賞与については、6 月分は給与の 2.00 ヶ月(市 2.225 ヶ月)、12 月分は給与の 0.60 ヶ月(市 2.225 ヶ月)としました。

② 物件費削減

物件費 8%削減を目標として経費削減に取り組んでいます。

2) 安定的な経営実現に向けた施策

(1) 計画入場者数

適正な利用料金とサービスの向上を柱として、下記の計画入場者数を目指します。

(平成 30 年度の入場者数を基本に天候による補正を行い、令和元年度の計画入場数としました。)

《入場者目標計画》

	H30 年度実績	R元年度計画	増減
ひばり	61,258 人	59,311 人	▲1,947 人
けやき	43,237 人	41,020 人	▲2,217 人
合 計	104,495 人	100,331 人	▲4,164 人

※令和元年度計画1日平均入場者数 ひばりコース 59,311 人／343 日＝172.9 人／日

けやきコース 41,020 人／349 日＝117.5 人／日

(2) 利用料金の設定

基本的には平成 30 年度と同額の利用料金としましたが、10 月 1 日からは消費税増分を転嫁した利用料金に改訂しました。

《ひばりコース》

ひばりコースは、スループレー制を継続しています。

	区分	H30 年度	R元年度	増減額
休 日	市 民	4,500 円	4,500 円 (4,600 円)	0 円 (100 円)
	市 外	8,600 円	8,600 円 (8,800 円)	0 円 (200 円)
平 日	市民・市外	4,500 円	4,500 円 (4,600 円)	0 円 (100 円)

※乗用カート付。()内は令和元年 10 月 1 日以降の料金を示す。

ひばりコースでは今年度より、7 月から 9 月に実施していた夏季料金(平日、土日祝日 500 円割引)を廃止しましたが、入場者数に大きな影響はありませんでした。

《けやきコース》…休日料金は別途

	H30 年度	R元年度	増減額
平 日	10,400 円	10,400 円 (10,600 円)	0 円 (200 円)

※食事、乗用カート付。()内は令和元年 10 月 1 日以降の料金を示す。

けやきコースでは集客が少なくなる 7 月～9 月、1 月～2 月は季節料金として平日 1,500 円の割引を継続しています。

(3) 入場者増加対策

①ひばりコースでの早朝及び午後 0.5Rプレーの継続

4 月～10 月までの早朝及び通年の午後の 0.5 ラウンドプレーを実施しました。

	平日(市民休日)	土日祝日
早朝(4月～10月)	2,600 円	4,500 円
午後(通年)	(2,700 円)	(4,600 円)

※乗用カート付。()内は令和元年 10 月 1 日以降の料金を示す。

②ひばりコースでの2サム保証料金を継続

ひばりコースでは、なかなか予約できないという利用者の声に応えるため、2サム保証の場合の割増料金を設けて、組み合わせによるご利用を促しています。

・保証料金＝平日 2,000 円、土日祝日 4,000 円

③ひばりコースでの特別割引を継続

●ポイントカード割引(市民 10%、市外 5%還元)

●市民感謝デイ(第 4 月曜 500 円割引)

④けやきコースでの早朝 0.5Rプレーを継続

4 月～9 月まで早朝の 0.5 ラウンドプレーを実施しました。

	平日	土日祝日
4 月～9 月	3,220 円	5,320 円

※手引カート

⑤けやきコースでの午後 0.5Rプレーを継続

通年、午後の 0.5 ラウンドプレーを実施しています。

	平日	土日祝日
通 年	4,300 円 (4,400 円)	6,400 円 (6,600 円)

※乗用カート付。()内は令和元年 10 月 1 日以降の料金を示す。

⑥けやきコースでの特別割引を継続

●ポイントカード割引(市民 10%、市外 5%還元)

●市民特別料金(月・金 1,000 円割引)

●マイバースデー割引(平日 500 円、休日 1,000 円割引)

●レディース&シニア割引(1,300 円割引)

●コンペ割引サービス(2 組 8 人以上のコンペを対象)

●けやき友の会(市民対象:年会費 10,000 円で毎回 2,000 円割引)

●けやきワンイヤークラブ(市外対象:年会費 13,000 円で毎回 2,000 円割引)

3)令和元年度決算見込み

利根川の河川敷に位置するひばりコースでは、昨年 10 月 12 日に関東地方を通過し、東日本に大きな災害をもたらした台風 19 号の大雨の影響により、利根川の水位が上昇し、グリーン、ティーグラウンドを含め全コースが冠水し、低地では 5.5 メートル以上の水深となり、昭和 52 年の開場以来最大の冠水被害となりました。

冠水は 10 月 16 日にはほぼ解消しましたが、コース内には多いところで厚さ 40 センチ以上の土砂が残り、グリーン、ティーグラウンドの洗浄は 11 月中には概ね完了しましたが、フェアウェイの土砂や流木等の撤去に時間を要しております。

幸い下流側 9 ホールのインコースでは土砂の堆積が少なく、当初、1 月初旬には 9 ホールでの暫定営業の開始を予定しておりましたが、11 月、12 月と雨天の日が多く作業に遅れが生じ、現在、2 月中には暫定営業が開始できるよう作業を進めております。

上流側 9 ホールのアウトコースでは被害が大きく、今年度中の営業再開は難しい状況となっております。

この影響により、ひばりコースでは試験的に実施した夏季料金割引の廃止の影響もなく、4月から9月末までの6ヵ月間の入場者数は、昨年と比較し1,429人の増と好調でありましたが、11月末までの8ヵ月では、昨年の43,797人に対し8,049人減の35,748人となりました。

なお、けやきコースでは11月末までの8ヵ月間の入場者数は、昨年の29,637人に対し822人増の30,459人と好調を維持しております。

この結果、ひばりコースでの HALF 営業は考慮せず年度内クローズの最悪の状況を想定し、11月末までの営業実績に基づき令和元年度の決算見込みを試算したところ、今年度末の入場者数は、ひばりコースでは計画を大幅に下回る23,563人減の35,748人、けやきコースでは計画より1,320人増の42,340人と見込まれます。

また、当期利益では計画の4,353万円の収益見込みに対し、8,252万円減の3,899万円程度の赤字が想定され、純資産も2億4,814万円に減少する見込みです。

平成26年度からの一般財団法人への移行以来、再建計画に基づき様々な取り組みを実施し、これまで順調に収益を上げてまいりましたが、今年度は予期せぬ大規模災害の影響により非常に厳しい経営状況となっております。

来年度以降、今年度の損益を一刻も早く解消できるよう職員一同鋭意努力するとともに、市も経営の再建を継続して支援してまいります。

《R元年度入場者見込数》

R元年 11 月末現在

	ひばりコース	けやきコース	合 計
見込	35,748 人	42,340 人	78,088 人
計画	59,311 人	41,020 人	100,331 人
増減	▲23,563 人	1,320 人	▲22,243 人

《R元年度決算見込》

(単位:千円)

勘定科目	決算見込	計 画	増減
収入の部	962,263	1,056,671	▲94,408
支出の部	1,001,257	1,013,145	▲11,888
当期利益	▲38,994	43,526	▲82,520
H30 年度末純資産合計	287,130	287,130	0
R元年度末純資産合計	248,136	330,656	▲82,520

3 令和 2 年度以降の経営見通しについて

令和元年度の決算見込みを考慮した上で、入場者数を平成 30 年度及び令和元年度の実績を基に、悪天候による減少日数を補正した入場者数(ひばり 59,305 人、けやき 42,646 人、合計 101,951 人)と想定し、令和 2 年度から令和 10 年度までの決算見込みを試算したところ、当期利益は 2,700 万円から 8,800 万円まで年度ごとにばらつきはあるものの、平均で 5,600 万円程度の利益が見込まれ、純資産は増加することから開発協会が解散する事態にはならないと見込んでおります。

しかしながら、資金計画では借入金の償還支出が年間 1 億 1,300 万円(令和 5 年度償還終了)あるため、償還が終了する前年度の令和 4 年度までは、年間平均で 4,500 万円程度の損失を見込んでおります。

また、今年度の災害により、令和元年度末の現金預金高は 4,375 万円に減少する見込みで、令和 2 年度には 860 万円程度の資金不足が生じることになります。

このため、償還が完了する令和 5 年度までの運営資金として、来年度にはつなぎ融資として 1 億 5,000 万円程度を銀行から借入する必要があるという結果になりました。

なお、想定入場者数が 1 割増加した場合には、資金計画において資金不足が生じることはないと見込まれます。

今後は平成 31 年 2 月に策定した「野田市開発協会経営健全化方針」に基づき、現在、平日、休日ともに同額となっているひばりコースの市民の利用料金について、市民ゴルフ場としての役割と整合を図りながら、休日の市民利用料金の引き上げについて検討してまいります。

厳しい経営環境にあるゴルフ業界であり、また、昨今の異常気象による自然災害は激しさと頻度を増すなど、開発協会は、これまで以上に経営の合理化を図る必要がありますが、今後も常に収支の見通しを検討しつつ、野田市パブリックゴルフ場の評価に見合った適切な料金体系の設定や、サービス水準の維持・増進、営業の強化に努めてまいります。

1. ひばりコース

① 入場者調

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均
30年度	6,052	6,228	5,811	4,914	4,302	4,915	5,891	5,684	4,892	4,082	3,269	5,218	61,258	170
前年度	5,926	6,706	6,142	6,094	5,409	5,814	3,366	3,347	4,984	3,178	3,271	5,024	59,261	175
増減	126	△478	△331	△1,180	△1,107	△899	2,525	2,337	△92	904	△2	194	1,997	
一日平均	202	201	194	159	139	164	196	189	158	132	131	168	170	

* 営業日数 361日（前年度338日）

* 休業日数 4日（前年度27日） 内訳 台風コース 1日（10/2）、積雪コース 3日（2/9～11）

② 曜日別入場者調

単位：人

区分	月	火	水	木	金	土	日	祝休日	合計
入場者数	7,127	9,067	7,946	7,861	8,039	9,064	9,770	2,384	61,258
一日平均	166	181	156	160	161	178	188	159	170
構成比%	11	15	13	13	13	15	16	4	100

③ 男女別入場者調

単位：人

区分	男性	女性	合計
入場者数	52,866	8,392	61,258
一日平均	147	23	170
構成比%	86	14	100

④ 地区別入場者調

単位：人

区分	野田市	県内他	小計	東京都	埼玉県	茨城県	神奈川県	その他	小計	合計
入場者数	15,621	15,697	31,318	10,680	16,282	1,633	1,091	254	29,940	61,258
月平均	1,302	1,308	2,610	890	1,357	136	91	21	2,495	5,105
構成比%	25	26	51	17	26	3	2	1	49	100

2. けやきコース

① 入場者調

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	一日平均
30年度	3,769	4,103	3,532	3,447	3,062	3,459	4,167	4,098	3,793	3,463	2,445	3,899	43,237	119
前年度	3,576	4,171	3,331	3,614	3,015	3,669	3,228	4,179	3,802	2,233	2,385	3,289	40,492	114
増減	193	△68	201	△167	47	△210	939	△81	△9	1,230	60	610	2,745	
一日平均	126	132	118	111	99	115	134	137	122	112	94	126	119	

* 営業日数 363日（前年度355日）

* 休業日数 2日（前年度10日） 内訳 積雪コース 2日（2/9、10）

② 曜日別入場者調

単位：人

区分	月	火	水	木	金	土	日	祝休日	合計
入場者数	4,409	5,810	6,120	5,399	5,800	7,099	6,612	1,988	43,237
一日平均	103	114	120	110	116	139	127	124	119
構成比%	10	13	14	12	13	17	16	5	100

③ 男女別入場者調

単位：人

区分	男性	女性	合計
入場者数	36,591	6,646	43,237
一日平均	101	18	119
構成比%	85	15	100

④ 地区別入場者調

単位：人

区分	野田市	県内他	小計	東京都	埼玉県	茨城県	神奈川県	その他	小計	合計
入場者数	8,136	9,649	17,785	11,679	10,310	886	2,112	465	25,452	43,237
月平均	678	804	1,482	973	859	74	176	39	2,121	3,603
構成比%	19	22	41	27	24	2	5	1	59	100

貸借対照表

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

一般財団法人野田市開発協会

理事長 今村 繁

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
I 流動資産		I 流動負債	
1 現金	11,787,096	1 営業未払金	33,704,426
2 預金	261,887,327	2 未払法人税等	10,504,600
3 未収金	23,489,735	3 未払消費税	12,165,100
4 商品	2,641,024	4 その他未払金	44,526,205
5 貯蔵品	1,903,340	5 買掛金	3,461,670
流動資産合計	301,708,522	6 預り金	3,280,123
II 固定資産		7 仮受金	268,400
[1] 有形固定資産		流動負債合計	107,910,524
1 コース施設	313,495,013	II 固定負債	
2 建物	196,408,383	1 長期借入金	844,400,000
3 構築物	8,774,525	固定負債合計	844,400,000
4 機械装置	3,347,184	負債合計	952,310,524
5 建物附属設備	16,431,651	III 純資産	
6 器具備品	6,495,161	1 基本金	70,000,000
7 車輛運搬具	134,314	2 繰越利益金	177,235,395
8 船舶	4,634	3 当期利益	39,895,012
9 土地	532,000	純資産合計	287,130,407
10 工事未収金	321,400,000		
11 公園建設仮勘定	1,800,000		
12 少額減価償却資産	0		
有形固定資産合計	868,822,865		
[2] 無形固定資産			
1 賃借権	35,703,034		
2 電話加入権	335,769		
無形固定資産合計	36,038,803		
[3] 投資等			
1 出資金	20,000		
投資等合計	20,000		
固定資産合計	904,881,668		
III 繰延資産	32,850,741		
繰延資産合計	32,850,741		
資産合計	1,239,440,931	負債純資産合計	1,239,440,931

損益計算書

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

一般財団法人野田市開発協会

費用の部		収益の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
I 営業費用		I 事業収益	
① ひばり売上原価	223,688,650	①グリーンフィ収入(ひばり)	243,111,884
② けやき売上原価	335,169,920	②ゴルフ利用税収入(")	13,580,700
③ 総合公園売上原価	138,196,458	③売店収入(")	13,242,494
④ 都市公園売上原価	194,275,351	④ゴルフ保険料収入(")	428,631
⑤ 減価償却費	19,856,156	1 ひばり事業収益合計	270,363,709
1 売上原価合計	911,186,535	①グリーンフィ収入(けやき)	309,893,193
2 売上利益	156,569,254	②ゴルフ利用税収入(")	18,463,250
		③乗用カート代(")	44,277,000
		④売店収入(")	12,394,050
		⑤食堂収入(")	26,987,268
		⑥ゴルフ保険料収入(")	323,260
		⑦その他収入(")	47,720,975
		2 けやき事業収益合計	460,058,996
		①総合公園指定管理料収入	111,055,145
		②総合公園利用料収入	28,013,843
		③総合公園売店収入	2,644,648
		3 総合公園事業収益合計	141,713,636
		①都市公園受託収入	195,619,448
		4 都市公園事業収益合計	195,619,448
小計	1,067,755,789	小計	1,067,755,789
II 管理費		売上利益	156,569,254
1 一般管理費	83,825,825		
2 営業利益	72,743,429		
小計	156,569,254	小計	156,569,254
III 営業外費用		営業利益	72,743,429
1 支払利子	20,427,150	II 営業外収益	
2 繰延資産除却損	4,634,261	1 雑収入	2,248,989
3 経常利益	49,948,649	2 受取利子	17,642
小計	75,010,060	小計	75,010,060
IV 特別損失		経常利益	49,948,649
1 法人税及び地方税	18,185,800	III 特別利益	
2 固定資産除却損	9,649	1 利子補給金収入	8,141,812
3 災害復旧費	0		
4 当期利益	39,895,012		
計	58,090,461	計	58,090,461

損益計算書

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日

説明資料

一般財団法人野田市開発協会

費用の部		収益の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
営業管理費(ひばり)	84,010,281	グリーンフィ収入(ひばり)	243,111,884
コース管理費(〃)	67,763,819	ゴルフ利用税収入(〃)	13,580,700
ゴルフ利用税支出(〃)	13,580,700	売店収入(〃)	13,242,494
ゴルファー保険料支出(〃)	428,631	ゴルファー保険料収入(〃)	428,631
商品仕入(〃)	3,904,364		
食品仕入(〃)	4,538,255		
コース使用料(〃)	49,462,600		
小計	223,688,650	小計	270,363,709
営業管理費(けやき)	135,006,514	グリーンフィ収入(けやき)	309,893,193
コース管理費(〃)	71,322,888	ゴルフ利用税収入(〃)	18,463,250
ゴルフ利用税支出(〃)	18,463,250	乗用カート収入(〃)	44,277,000
ゴルファー保険料支出(〃)	323,260	売店収入(〃)	12,394,050
商品仕入(〃)	6,675,351	食堂収入(〃)	26,987,268
コース使用料(〃)	36,442,682	ゴルファー保険料収入(〃)	323,260
食堂管理費(〃)	66,935,975	その他収入(〃)	47,720,975
小計	335,169,920	小計	460,058,996
総合公園管理費	138,196,458	総合公園指定管理料収入	111,055,145
		総合公園利用料収入	28,013,843
		総合公園売店収入	2,644,648
小計	138,196,458	小計	141,713,636
都市公園受託管理費	194,275,351	都市公園受託収入	195,619,448
小計	194,275,351	小計	195,619,448
減価償却費	19,856,156		
売上原価合計	911,186,535	事業収益合計	1,067,755,789
一般管理費	83,825,825	雑収入	2,248,989
支払利子	20,427,150	受取利子	17,642
繰延資産除却損	4,634,261	事業外収益合計	2,266,631
固定資産除却損	9,649	利子補給金収入	8,141,812
法人税及び地方税	18,185,800	特別利益合計	8,141,812
災害復旧費	0		
費用の部合計	1,038,269,220		
当期利益	39,895,012		
合計	1,078,164,232	合計	1,078,164,232

台風 19 号によるひばりコースの被害状況写真

① 【10月13日】クラブハウス前



② 【10月14日】1番グリーン付近



③ 【10月18日】8番グリーン付近



④ 【10月21日】5番コース付近



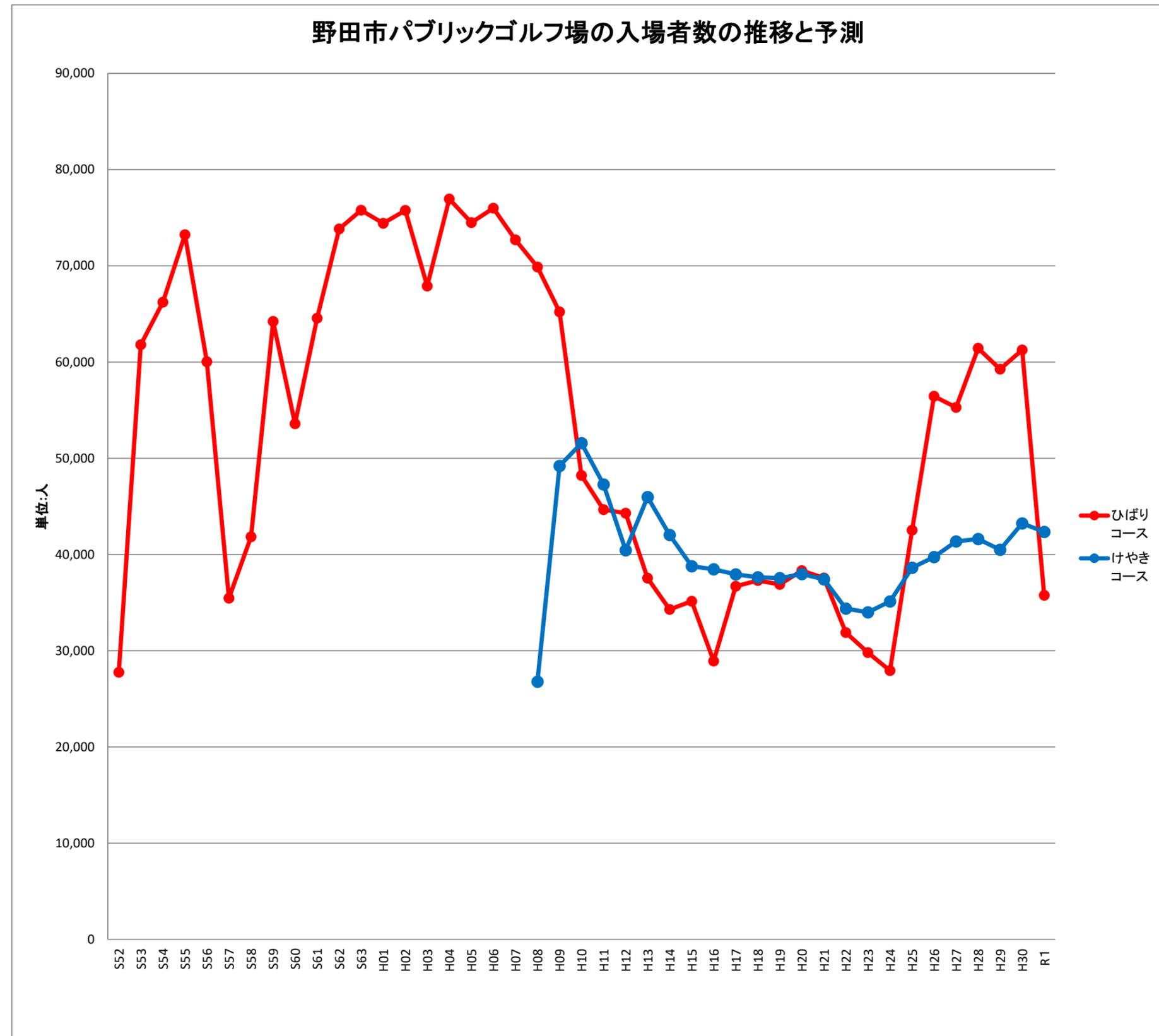
⑤ 【11月29日】5番コース付近



⑥ 【12月14日】5番コース付近



年度	ひばり コース	対前年	けやき コース	対前年
S52	27,753			
S53	61,807	34,054		
S54	66,221	4,414		
S55	73,227	7,006		
S56	60,025	▲ 13,202		
S57	35,450	▲ 24,575		
S58	41,833	6,383		
S59	64,212	22,379		
S60	53,579	▲ 10,633		
S61	64,559	10,980		
S62	73,834	9,275		
S63	75,776	1,942		
H01	74,415	▲ 1,361		
H02	75,766	1,351		
H03	67,888	▲ 7,878		
H04	76,941	9,053		
H05	74,481	▲ 2,460		
H06	75,981	1,500		
H07	72,707	▲ 3,274		
H08	69,868	▲ 2,839	26,789	
H09	65,210	▲ 4,658	49,205	22,416
H10	48,209	▲ 17,001	51,567	2,362
H11	44,662	▲ 3,547	47,279	▲ 4,288
H12	44,289	▲ 373	40,431	▲ 6,848
H13	37,548	▲ 6,741	45,963	5,532
H14	34,288	▲ 3,260	42,029	▲ 3,934
H15	35,129	841	38,786	▲ 3,243
H16	28,924	▲ 6,205	38,457	▲ 329
H17	36,699	7,775	37,930	▲ 527
H18	37,288	589	37,631	▲ 299
H19	36,888	▲ 400	37,534	▲ 97
H20	38,310	1,422	37,967	433
H21	37,554	▲ 756	37,417	▲ 550
H22	31,890	▲ 5,664	34,373	▲ 3,044
H23	29,803	▲ 2,087	33,984	▲ 389
H24	27,924	▲ 1,879	35,123	1,139
H25	42,524	14,600	38,614	3,491
H26	56,452	13,928	39,723	1,109
H27	55,281	▲ 1,171	41,356	1,633
H28	61,428	6,147	41,600	244
H29	59,261	▲ 2,167	40,492	▲ 1,108
H30	61,258	1,997	43,237	2,745
R1	35,748	▲ 25,510	42,340	▲ 897



当期利益と繰越未処分利益及び純資産の推移状況

単位：千円

年度		S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H元	H2	H3	H4	H5
公益事業	当期利益	344	15,274	▲ 7,416	24,676	▲ 8,945	▲ 5,336	▲ 2,728	17,582	16,301	36,219	43,108	34,790	50,929	63,702	2,269	▲ 339,514	53,172
	繰越未処分利益	388,782	404,057	396,640	421,317	412,371	407,035	404,306	421,889	438,191	474,410	517,518	552,309	603,238	666,940	669,210	329,696	382,868
収益事業	当期利益	▲ 480	139	302	3,161	▲ 2,537	▲ 138,732	▲ 15,587	84,862	56,214	16,388	▲ 132	8,645	11,318	23,045	174	6,327	14,454
	繰越未処分利益	▲ 480	▲ 341	▲ 39	3,122	584	▲ 138,148	▲ 153,735	▲ 68,873	▲ 12,658	3,730	3,598	12,244	23,562	46,607	46,782	53,109	67,564
総括表	当期利益	▲ 136	15,413	▲ 7,114	27,837	▲ 11,482	▲ 144,068	▲ 18,315	102,444	72,515	52,607	42,976	43,435	62,247	86,747	2,443	▲ 333,187	67,626
	繰越未処分利益	388,302	403,716	396,601	424,439	412,955	268,887	250,571	353,016	425,533	478,140	521,116	564,553	626,800	713,547	715,992	382,805	450,432
	純資産	458,302	473,716	466,601	494,439	482,955	338,887	320,571	423,016	495,533	548,140	591,116	634,553	696,800	783,547	785,992	452,805	520,432

年度		H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
公益事業	当期利益	26,057	805	26,308	▲ 24,956	▲ 11,728	▲ 29,377	▲ 18,204	▲ 9,669	▲ 14,088	▲ 1,464	▲ 52	▲ 763	▲ 2,289	▲ 3,239	▲ 3,761	▲ 2,997	▲ 3,990
	繰越未処分利益	408,926	409,732	436,040	411,084	399,355	369,977	351,773	342,103	328,014	326,550	326,498	325,735	323,445	320,207	316,445	313,448	309,458
収益事業	当期利益	13,563	9,587	18,950	4,821	▲ 88,387	▲ 76,211	▲ 145,882	▲ 178,273	▲ 56,159	▲ 13,212	▲ 47,395	10,335	▲ 214	▲ 9,049	10,015	▲ 5,286	▲ 100,448
	繰越未処分利益	81,127	90,715	109,666	114,487	26,099	▲ 50,111	▲ 195,993	▲ 374,266	▲ 430,426	▲ 443,637	▲ 491,033	▲ 480,698	▲ 480,911	▲ 489,961	▲ 479,945	▲ 485,231	▲ 585,680
総括表	当期利益	39,620	10,392	45,258	▲ 20,135	▲ 100,115	▲ 105,588	▲ 164,086	▲ 187,942	▲ 70,247	▲ 14,676	▲ 47,447	9,572	▲ 2,503	▲ 12,288	6,254	▲ 8,283	▲ 104,438
	繰越未処分利益	490,053	500,447	545,706	525,571	425,454	319,866	155,780	▲ 32,163	▲ 102,412	▲ 117,087	▲ 164,535	▲ 154,963	▲ 157,466	▲ 169,754	▲ 163,500	▲ 171,783	▲ 276,222
	純資産	560,053	570,447	615,706	595,571	495,454	389,866	225,780	37,837	▲ 32,412	▲ 47,087	▲ 94,535	▲ 84,963	▲ 87,466	▲ 99,754	▲ 93,500	▲ 101,783	▲ 206,222

年度		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
公益事業	当期利益	▲ 4,270	68,791	▲ 3,520	—	—	—	—	—									
	繰越未処分利益	305,188	373,979	370,459	—	—	—	—	—									
収益事業	当期利益	▲ 118,014	▲ 113,736	382,988	—	—	—	—	—									
	繰越未処分利益	▲ 703,694	▲ 817,430	▲ 434,442	—	—	—	—	—									
総括表	当期利益	▲ 122,284	▲ 44,945	379,468	75,946	20,119	72,006	73,147	39,895	▲ 38,994								
	繰越未処分利益	▲ 398,506	▲ 443,451	▲ 63,983	11,963	32,082	104,088	177,235	217,130	178,136								
	純資産	▲ 328,506	▲ 373,451	6,017	81,963	102,082	174,088	247,235	287,130	248,136								

- ※ 1) 平成8年10月けやきコースオープン
 2) 平成18年度から総合公園事業が指定管理者となり公益事業から収益事業に変更
 3) 平成26年度から公益・収益の事業区分がなくなり一事業に変更
 4) 令和元年度は見込みを示す。

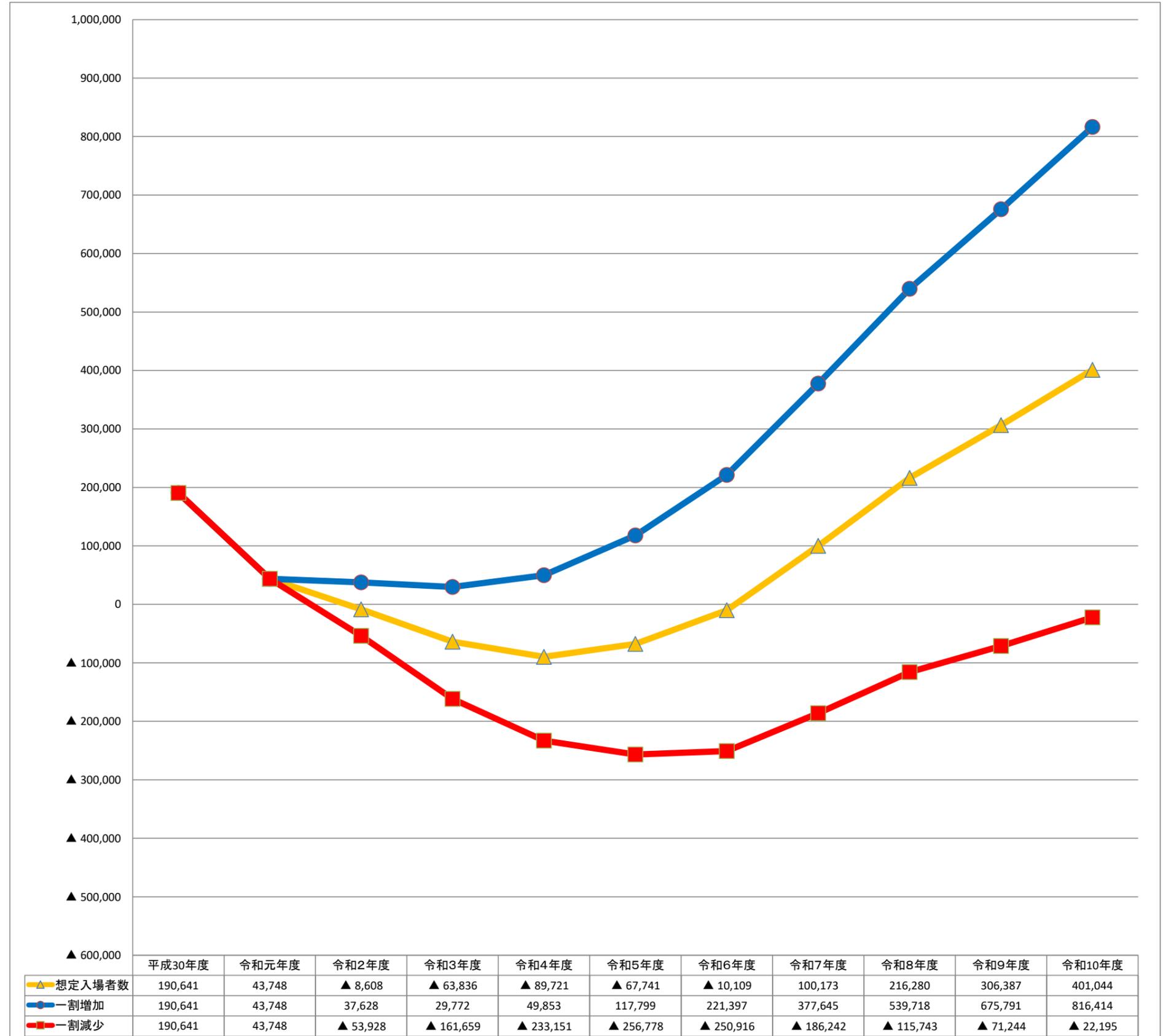
令和元年11月末の決算見込みに基づく資金計画の推計

資金計画

単位：千円

	期末現金預金残高		
	想定入場者数	一割増加	一割減少
平成30年度	190,641	190,641	190,641
令和元年度	43,748	43,748	43,748
令和2年度	▲ 8,608	37,628	▲ 53,928
令和3年度	▲ 63,836	29,772	▲ 161,659
令和4年度	▲ 89,721	49,853	▲ 233,151
令和5年度	▲ 67,741	117,799	▲ 256,778
令和6年度	▲ 10,109	221,397	▲ 250,916
令和7年度	100,173	377,645	▲ 186,242
令和8年度	216,280	539,718	▲ 115,743
令和9年度	306,387	675,791	▲ 71,244
令和10年度	401,044	816,414	▲ 22,195

入場者数の見込み	ひばり:59,305人 けやき:42,646人 合計:101,951人	ひばり:65,236人 けやき:46,912人 合計:112,148人	ひばり:53,375人 けやき:38,380人 合計:91,755人
----------	---	---	--



(仮称) 子ども部の設置の延期について

【野田市行政改革大綱 抜粋】

2 組織等の見直し

(1) 組織機構の見直し

① 組織の統廃合と組織体制の整備

行政需要の変化に的確に対応するため、行政需要に応じて部・課の組織について新設、統合、廃止を進める。組織の見直しに当たっては、簡素で効率的な組織を基本としつつ、柔軟で機動的な組織体制とするよう常に検証を進めていくこととする。

○31年度に、次の組織の新設及び移管を行う。

- ・自然経済推進部に魅力推進課を設置する。
- ・生涯学習部の社会体育課をスポーツ推進課に変更し、市長部局の自然経済推進部へ移管する。

○32年度に(仮称)子ども部の新設を検討する。

- ・31年度は、子どもに関する窓口の一本化を図るため、庁内ワーキンググループでの意見を集約し、32年度に(仮称)子ども部の設置を目指す。

今年度は、子どもに関する窓口の一本化を図るため、関係課で構成する庁内ワーキンググループで意見を集約し、令和2年度に(仮称)子ども部の設置を目指すこととしていたが、昨年1月に発生した児童虐待事件を踏まえ、本市では全職員を挙げて児童虐待に対応している。

これまでのところ、虐待に関する相談が多く寄せられており、子ども家庭総合支援課を中心に関係部署が連携しつつ、虐待対応に取り組んでおり、特に児童に関わる現場においてその対応に追われていることから、子どもに関する関係課で構成する庁内ワーキンググループを設置することができなかった。

来年度には各所属長に現場の状況を十分聞いた上で、なるべく現場に負担のない形で、現場が抱える課題を洗い出し、現場が納得した組織が作れるよう工夫をしながら、令和3年度の子どもの部設置を目指していく。